



二笠宮さま御來平

八日平市に御宿泊 九日勿來關へ御成り

三笠宮殿下には福島、栃木兩縣下の演習御見學のため四月六日午前八時四十分上野驛御發、西那須野に御一泊の後七日午後一時三十分西那須野御發、郡山に御成りあらせられ同夜は郡山或は熱海温泉に御一泊、八日早朝から同地方に於ける演習御見學あらせられ同日夜後零時二十分郡山驛御發、同二時五十分平驛御着、同夜は平市に御宿泊、九日は自動車にて午前九時三十分勿來關に御到着、同史蹟御見學のち午前十一時十九分勿來驛御發歸京あらせらる

平市防空委員

二十名知事から任命

平市では我等の空を護れとて去年に十三年度豫算に防空費を計上し平市防空委員会を設置して空の護りの完備を期することとなつたがその委員二十名はこの程知事から左の如く任命され二十八日初顔合せを行った

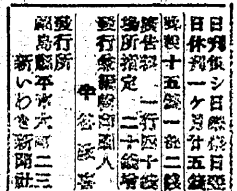
助役 須藤秀吉 消防組頭 井上茂作 同副組頭 内正一 郵便局長 牛崎久吉 警中配 屬將校中村中佐 商工会理 事務猪狩庄平 市聯合分會長 長川崎文治

公益質屋設置案

實行豫算を計上して 三十日の市會に上程

本年度最終の市會は既報の如く三十日午後一時招集され、が議案は左の通りで例の公益質屋の實行豫算等もいよいよ上程される

十三年度特別會計公益質屋更正 事業年度繰越 十二年度追加更正 十三年度追加



庶民金庫

加藤算 公會堂建築費起債 金庫事務取扱契約中更正 保健所敷地貸付契約 公益質屋運轉資金起債 公益質屋設置

上月開理事務期につき選任及び信用評定委員一名の補缺選挙を行ふ

理事選挙

來月二日施行
信用組合庶民金庫總代會は來月二日午後一時から同庫樓

この御覽じませ

松ヶ岡軍國の花

平驛の準備オーケー

カレンダールもあと三枚目で今年も彌生月：戦時下とあつて平驛でも今年の花見宣傳はどうしたものかと頭を痛めてゐたが軍國の花もまた一しほと例年通り大重への宣傳に乗り出すことに決定、先づ水戸平間、原町、平間、郡山、平間の各驛に觀櫻客誘致の立看板を掲出する外チラシ一萬枚を配布して松ヶ岡公園戦時

バス衝突事件の 機關士控訴公判

けふ現場で實地検証

昨年七月双葉郡木戸驛附近でバスと衝突し江名町からの遊覧客十数名死傷の惨事を引き起こしたのがその實地検証は二十日福島地方裁判所金裁判長より平間で罰金五百四十圓に處された仙台機關士阿部

注目されてゐる。高橋水戸運輸事務所長列席の上平機關區で表彰式が舉行される

向局長及び所長は二十九日午後來平し赤井、小川鶴の各驛を巡視し同日住吉屋本店に一泊の豫定

故吉田入山所長 嗣子の寄付

湯本町入山山所長常 兒童圖書館新設費

石城郡湯本町入山山所長常 兒童圖書館新設費

長故吉田宗雄氏の遺志を奉じて、氏の全家は柳里熊本縣夫草郡上利に移つてゐるが今三月二十七日で故人の忌明けとなつた嗣子宗孝氏は遺志を奉じて、己に對し芳志を贈るべきを時局に鑑みこれを止めて湯本高等小學校並びに入山山所長常小學校兩校の兒童圖書館新設費に多額の寄付をなした

溜池改修陳情

市上平字溜池内の溜池は、溜池は大正十二年の暴風雨で土砂流入したため使用されずにあるので部落居民金成總次さん外三十二名から市を通じて此復舊工事を懇に陳情した

藤田校受賞者

去る二十六日舉行された市内藤田女學校卒業生中受賞者は左の如し

優等賞
小倉みつ 富岡すみ 生田目美興子 荻野フミ 熊谷正子 遠藤シメ子 柴田しづ子 熊倉芳枝 鈴木キヨ子 中田ヨシ子 木田常子 椎名ミツ枝 瀬戸榮子 鈴木敬子 吉田穂子 松本千代 小林春子 谷平千代子 大平孝子 山野邊達子

校務補助賞
小泉貞子

奨励賞

平機關區と湯本驛表彰

あす金牌傳達式

平機關區は昭和十年八月二十五日から十三年二月二十四日まで、湯本驛は昭和九年三月一日から十三年二月二十八日まで、いづれも運輸事故皆無で水戸運輸事務所から金牌を授與され三月十日長崎東鐵局長

戦地待ちたる出動命令の便 志氣既に敵を呑む

(1) 平市舊城跡出身 伊藤貞衛

謹啓、寒風凜然然餘尙ほ嚴しき折柳御尊家皆々様には御座りませぬか御伺ひ申上げます、扱て私事今次事變のため出陣いたしましたに就いては種々御高配を賜はり有りがたく御禮申上げます、私も御座りにて

四倉校生献金

四倉小學校尋常二年生長谷川隆男君外四十名は小使錢一圓二十五錢を國防献金として町役場に密託した

石鳥居を寄附

箕輪村大字高野高森勝見さん外左記七名は四十二才の初老祝をやる村社鹿島神社に石の鳥居(工費三百圓)を寄附した

高森勝見 高森凱 高野吉丸 小沼義原 水竹正喜 高森清實 吉田民哉

築港荒し判決

小名濱築港事務所工事場から鐵材を窃取した江名町下神白無職馬目己之助(三)は二十六日平區で懲役十月を言渡される

今晚は北風の風、晴明日は北の風、晴時々曇

(愛國婦人會費) 小倉みつ 同柴田しづ子 同熊倉芳枝 同鈴木キヨ子 同木田常子 (柴田獎學費) 鐵愛子 同鈴木静枝 同高木ヨシ子 同宇佐美喜久子 (猪狩獎學費) 熊田キヨ子 同鈴木信子 同岡部辰子 同草野野江 同佐藤ウメ子 (柏原獎學費) 伊東敬子 同羽賀モト 同磯上喜美子 同小泉貞子 (吉田獎學費) 木田芳枝 同鈴木千代美 同須藤富子 (在學年間補助費) (三ヶ年無缺席) 岡部辰子 (二ヶ年間無缺席) 宇佐美喜久子 大垣鏡子 佐藤明子 鈴木ノブ子 高木ヨシ子 生田目美興子 木田常子 高木モモ 新妻アサ子 羽賀モト 吉畑好子

四倉校生献金

四倉小學校尋常二年生長谷川隆男君外四十名は小使錢一圓二十五錢を國防献金として町役場に密託した

石鳥居を寄附

箕輪村大字高野高森勝見さん外左記七名は四十二才の初老祝をやる村社鹿島神社に石の鳥居(工費三百圓)を寄附した

高森勝見 高森凱 高野吉丸 小沼義原 水竹正喜 高森清實 吉田民哉

築港荒し判決

小名濱築港事務所工事場から鐵材を窃取した江名町下神白無職馬目己之助(三)は二十六日平區で懲役十月を言渡される

今晚は北風の風、晴明日は北の風、晴時々曇

戦地待ちたる出動命令の便 志氣既に敵を呑む

(1) 平市舊城跡出身 伊藤貞衛

謹啓、寒風凜然然餘尙ほ嚴しき折柳御尊家皆々様には御座りませぬか御伺ひ申上げます、扱て私事今次事變のため出陣いたしましたに就いては種々御高配を賜はり有りがたく御禮申上げます、私も御座りにて

四倉校生献金

四倉小學校尋常二年生長谷川隆男君外四十名は小使錢一圓二十五錢を國防献金として町役場に密託した

石鳥居を寄附

箕輪村大字高野高森勝見さん外左記七名は四十二才の初老祝をやる村社鹿島神社に石の鳥居(工費三百圓)を寄附した

高森勝見 高森凱 高野吉丸 小沼義原 水竹正喜 高森清實 吉田民哉

築港荒し判決

小名濱築港事務所工事場から鐵材を窃取した江名町下神白無職馬目己之助(三)は二十六日平區で懲役十月を言渡される

今晚は北風の風、晴明日は北の風、晴時々曇

御誂の既製品
高野屋洋行
電話三三六

魁文堂
電話三三三

玉泉堂の香道筆
古梅園の書道墨

雲州神國印ソロバン
優勝印高級ソロバン
優等印高級ソロバン
ウエル萬年筆
ライトインキ
ムツソリニペン
玉泉堂の香道筆
古梅園の書道墨

御誂の既製品
高野屋洋行
電話三三六

御誂の既製品
高野屋洋行
電話三三六

産業方面

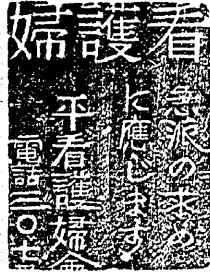
馬の青訓

(1) 今事變で受けた最も大きな教訓

今次事變上海戦線に於ける皇軍が今後の作戦上最も大きな教訓は江南一帯のクリークを支那軍が巧みに利用したことで此の意味で上海戦線はクリーク要塞戦とも稱すべき戦闘形態であつた、この戦闘形態に於て最も甚大な犠牲を被つたのは皇軍の軍馬であり大きな缺陷を暴露したのは我が國の産馬計画であるとして馬産地の部隊であつて馬産界の權威者揃ひである高橋部隊が第一線から馬産計画の根本的樹て直して關して貴重なる一石を投じた、東北、北海道の六道六縣の獣醫師會議員で産馬北海道の斯界の權威獸醫大尉、北海道夕張郡栗山村出身上海派遣軍〇〇〇病馬廠副官葛卷義定氏は實際に戦線に於ける病馬を手につけては部下の醫學的報告に基づいて見出したる結論として次の如く語つてゐる、

軍馬の犠牲が多かつた一般的原因としては(一)勞務過度(二)氣候風土の相違(三)露繁(四)飼糧の不充分(五)馬体馬具の手入不充分をあげ得るが此の一般原因を誘發せる根本原因は日本の馬産奨励計畫が根本的に誤つてゐたからだ、發達は馬格が弱んで殆んど軍馬として使用し耐へないものが多かつた、これは我が國は馬の改良を流行馬、即ちサラブレッド、トロッター、マン

グロノルマンの種を企てしかも種回數が進まぬもの此中馬の如きは現地に到着してから流産續出で弱つてゐる。



婦科、小兒科、花柳病科、耳鼻咽喉科、レントゲン科
高久病院
院長 醫學士 高久忠

大内河
平市搔搔小路
整形科醫院
電話五八八番

山野邊藥局
平市 五丁目角
價目表：
四〇瓦入 五十個
八〇瓦入 九十五個
四瓦入 二百廿五個
四瓦十袋入 四
二〇

デリーサービス
特にマルトモのランチは...
RESTAURANT MARUTOMO
堂食モトルマ
電話 二二三

春の洋品オンパレード
現代の粹を集めた
スプリング・シヨール
股方趣味百%の
アウティング・シャツ
とネクタイ
断然ニーススタイル!!
中折帽子
鳥打
子供帽子と
春の子供洋服
ツルヤ 平電 四〇一

和洋銅鐵、金物問屋
益屋商店
九九・九電

病室増築、手術室完備
産科 醫學博士
婦人科 五十嵐雄二
平市新川町「電話二六九番」

産婆看護婦生徒募集
回顧書締切 四月六日
回修學年限 兩科を通じて一ヶ年
平市一丁目
新築校舎、平市搔搔小路
石城産科看護婦學校
校長 應崎千代
印刷見習工募集

目科療診
一 齒科 一般
一 口腔外科
一 レントゲン科
院長 日本齒科 醫學士 中野 忠 次
副院長 日本齒科 醫學士 西川 誠
電話五〇九番

生徒募集(學則)
一、學費の經濟を主眼とし
二、實際生活に即した指導
三、女性の使命感に生きる信念
の教育
磐城家政學園
平市八幡小路(八幡社前)

産科 院長 木村寅次郎
婦人科 醫學博士 内木宗八
外科 藥劑師 大岩俊雄
藥局
平市新川町九一
入院隨着 木村病院
電話一六四番